

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月06日

計画の名称	佐野駅周辺地区におけるまちづくり													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	佐野市													
計画の目標	本地区は、佐野市都市計画マスタープランにおいて、“都市機能が集約した拠点づくりを目指すゾーン”として位置づけられ、様々な都市機能が集積する都市空間の形成と生活利便性の高いまちなか居住環境の再生を図る地区としている。 そのような中、防災拠点に位置付けられている市庁舎が完成し、庁舎周辺部及び駅へのアクセス性の向上が求められている。 「市庁舎が果たす防災拠点としての役割を支える骨格道路網の形成」を目標にまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		801	A	801	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（R3末）	（R5末）
1	市道佐野57号線の自動車通行量を665台/日（H31）から1,500台/日（R5）に増加 市道佐野57号線の自動車通行量を測定する。	665台/日	665台/日	1500台/日
2	都市計画道路3・4・201号高砂植下線の歩行者及び自転車通行量を750人/日（H31）から825人/日（R5）に増加 都市計画道路3・4・201号高砂植下線の歩行者及び自転車通行量を測定する。	750人/日	750人/日	825人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	佐野市	直接	佐野市	市町村 道	改築	市道佐野57号線	延長70m	佐野市						84		未策定
	A01-002	街路	一般	佐野市	直接	佐野市	S街路	改築	都市計画道路3・4・201号 高砂植下線	延長110m	佐野市						270		未策定
											小計						354		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	佐野市	直接	佐野市	-	-	土地区画整理事業（駅南 公園西地区）	都市再生区画整理 0.7ha	佐野市						447	1.01	未策定
												小計						447	
											合計						801		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
佐野市都市整備課、道路河川課	令和7年10月（繰越分終了後）
	公表の方法
	佐野市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標の目標値の達成は一部未達であったが、市道佐野57号線（道路事業）、都市計画道路3・4・201号高砂植下線（第2工区）が完了し、土地区画整理事業（駅南公園西地区）が29.9%進捗したことで、道路通行者の利便性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
市庁舎が果たす「防災拠点としての役割を支える骨格道路網の形成」を実現するため、都市計画道路3・4・201号高砂植下線（全体延長：L = 1,000m）及び土地区画整理事業（駅南公園西地区）については、次期計画において、引続き整備を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	1500台/日	道路事業としての市道佐野57号線は完了したが、同路線を含む土地区画整理事業（駅南公園西地区）は未完了であり、整備効果が十分に発現されないため
	最 終 実績値	1078台/日	
2			
	最 終 目標値	825人/日	
	最 終 実績値	875人/日	